

VOL.7 町内会探訪記

里塚大橋からみた町並み

里塚・美しが丘地区地区

桂台町内会

町内会加入世帯：1,040軒
高齢化率：およそ19%



町内会と民生委員・児童委員がつながり、要援助者見守り活動（気にかける運動）を強化

桂台町内会は、旧36号線と道央自動車道の間位置し、昭和51年に設立された当初は60世帯ほどだったのが、今では1,300世帯ほどに増え、里塚・美しが丘地区では3番目に世帯数が多い町内会になりました。また、若い世代の方々が少ない一方、高齢化も徐々に進んでいる町内会です。このような状況のもと、桂台町内会の泉剛三（いずみごうぞう）会長は、今までのひとり暮らし高齢者見守り活動をさらに充実させるため、町内の福祉推進員を増員し、取り組みを強化しました。この見守り活動は、町内会役員や福祉推進員、民生委員・児童委員が中心となっておこない、定期的な活動の打ち合わせをとおして、情報を共有しお互いの活動確認などにより進めています。「この活動をとおして、町内会として今まで接点がなかった方と関わることができ、コミュニケーションも深まり、町で会った時もお互いに挨拶を交わし合う関係になったことが、嬉しく思う事です。」と、泉会長は話されます。活動者がしっかりとつながり、町内会全体で要援助者を気にかけるこのような活動は、着実に桂台町内会の地域福祉が進んでいるように感じました。



泉剛三 会長



見守り活動の様子



活動打ち合わせ会議の様子



みんなで見守りマップづくり



手作りの五目チラシは大好評

高齢者と地域との交流を深めるため、「食事会サロン」も実施

このような、要援助者見守り活動のほか、高齢者等が地域で孤立をしないように、住民どおしが交流を深めるための取り組みとして、「食事会サロン」を今年始めて開催しました。この取り組みについて泉会長は、「福祉推進員全員が食事会などを通して、皆さんと交流を深めていきたいと思っており、今回開催できたことで、少しずつですが桂台町内会の地域福祉が進んだと思っています。また、参加された方にも食事の準備などを手伝っていただき、みんなで取り組む交流活動は、参加された方もスタッフも楽しい有意義な時間を過ごしていると思います。この活動は、同じ町内会に住む仲間の交流を図るため、年数回、定期的に取り組んでいきたいです。」と話されていました。

これからの町内会づくりに向けて

福祉の取り組みのほか、町内会各部においては様々な取り組みをしていますが、特に、町内会設立当初から行っている、「町内運動会」と「盆踊り」は、これからも継続して実施していきたい事業になっているそうです。「少子高齢社会の今だからこそ、より多くの方に町内会活動へ参加していただき、交流と親睦を図り、一緒に住みよい町内会づくりをしていきたいです。」と泉会長は話されます。町内会活動は、住民が町内を見つめ、住民どおし共有できる何かを持続することが大切なのだと感じました。



毎年恒例の町内運動会